

市立総合病院から救急診療についてのお願

現在、市立総合病院では1年365日、休日や夜間における救急患者さまの生命を守るため、内科系1名、外科系1名の医師による救急診療を実施しています。もちろん医師のほかにも看護師、薬剤師、放射線技師や検査技師そして窓口事務担当者も配置し、救急でお見えになる患者さまへの対応に万全を期しています。

緊急的な医療を施すためであり、これを二次救急といっています。しかしながら、最近の救急外来にお見えになる患者さまの約80%は診療の結果、二次救急の部類に入らない患者さまであります。腹痛や発熱で苦しんでいる方が、一刻も早くその苦しみから解放されたいと願う気持ちは当然です。場合によってはその裏に重篤な病気が潜んでいる場合もあるでしょうから、判断が難しいということもあります。中には何日も我慢したが治らないからと、昼間は待ち時間が長い

からと、また、昼間は仕事で忙しいからなどという理由で、時間外に受診される方も見受けられます。平成16年度において、午後5時から翌朝の8時15分までの間に受診された患者さまは10、659人で、1日あたり約30人にもなります。

さらに病院全体の医療にも深刻な問題を引き起こす恐れがあります。それは医師の過重労働による影響です。夜間の当番医師は、朝から晩まで通常勤務をし、そして5時から当直に入りますが、最近ほとんど寝る間もなく朝を迎えることが多くなっています。さらに、休むことなく翌日の診察に従事し、家に帰るのは夜中、実に30数時間勤務というようなことが月に数回も起こっています。医師は、このような厳しい状況に耐えて頑張っています。医師の確保が十分にできれば問題は無いので

すが、医師不足は深刻で、病院としても様々な方法で医師の確保に努めておりますが、有効打がなく、この厳しい状況はまだしばらく続くものと考えられます。

みなさまのご期待に応え、病院が本来の使命を果たすためには、みなさまがこの病院をどのように利用していただくかということにかかっていると、いつても過言ではありません。

病院といたしましては職員一人丸となって努力して参りますので、ぜひ実情をご理解いただき、ご協力くださるようお願い申し上げます。

平成17年4月27日
掛川市立総合病院
院長 五島 一 征

お願いします

採用職員

医師 (5/1付)



耳鼻咽喉科
医師
森 聖 哲

非常勤看護師 (4/18付)

村松清子 整形外科外来

ありがとうございました

退職職員

医師 (4/30付)

杉山健一 耳鼻咽喉科医師

久吉未希子 研修医

鈴木 稿 研修医

非常勤看護師 (4/15付)

地代正恵 外科外来

募集 腎臓病調理実習

食事療法により透析の導入を遅らせることを目的とした「腎臓病調理実習」を開催します。お気軽にご参加ください。



- と き 6月19日(日)
午前10時から午後1時
- ところ 徳育保健センター 食育の部屋
- 対 象 腎臓病でお悩みの方とその家族
- 参加料 材料費として500円
- 定 員 30名 定員になり次第締め切り
- 問 ① 掛川市立総合病院 ☎22-6211
栄養管理室(内線270)